

川崎市国際交流協会

令和4年度 事業報告書

事業年度 自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人 川崎市国際交流協会

目次

I 諸外国との情報及び資料の収集・提供事業	- 1 -
■1 情報サービス事業	- 1 -
(1) ハローかわさき発行事業 (1-9)	- 1 -
(2) ホームページによる情報提供事業 (1-10)	- 1 -
(3) 各種メディアの活用.....	- 2 -
II 市民レベルでの国際交流に関する事業	- 2 -
■1 国際交流事業	- 2 -
(1) ウーロンゴン大学等川崎研修の受入事業 (1-7)	- 2 -
(2) 川崎市民交流団の派遣 (1-12)	- 2 -
■2 行事開催事業 (主催公演事業)	- 2 -
(1) インターナショナル・フェスティバルの開催事業 (1-8)	- 2 -
(2) 多文化共生推進イベント (1-6)	- 2 -
■3 講座・研修の開催事業	- 3 -
(1) 地球市民講座 (1-1)	- 3 -
(2) 各種語学講座 (1-1)	- 4 -
(3) ボランティア研修会 (1-1)	- 5 -
(4) 外国人市民のための講座 (1-1)	- 6 -
(5) ふれあい交流会 (1-2)	- 8 -
(6) ウクライナ緊急支援 伝統工芸展&トークイベント (1-2)	- 8 -
■4 調査・研究事業	- 8 -
(1) 調査研究 (1-3)	- 8 -
■5 外国人留学生修学奨励金支給事業	- 9 -
(1) 奨励金支給 (1-4)	- 9 -
(2) 担当者への支給説明会 (1-4)	- 9 -
(3) 留学生への支給説明会・留学生交流会と情報提供会 (1-4)	- 9 -
(4) 留学生による川崎についての調査と発表、冊子の作成.....	- 10 -
III 民間国際交流団体及びボランティアの育成事業	- 10 -
■1 民間交流団体補助金交付事業	- 10 -
(1) 補助金の交付 (1-5)	- 10 -
(2) 国際交流民間団体の育成、支援 (1-5)	- 11 -

■2 ボランティア活動推進事業	- 12 -
(1) ボランティア活動支援 (1-11)	- 12 -
(2) 国際理解教育支援 (1-11)	- 13 -
■事業アンケート結果.....	- 13 -
■処務事項.....	- 14 -

令和4年度公1事業報告書（川崎市国際交流協会事業）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

※事業名末尾の（ ）書きは県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 諸外国との情報及び資料の収集・提供事業

■1 情報サービス事業

(1) ハローかわさき発行事業（1-9）

市内在住の外国人に向けて、市政情報等を12言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、やさしい日本語）で提供した。

（発行） 6回発行（全言語で約41,200部）

（仕様） A4版両面印刷 <4、6、8、10、12、2月号>

（配布先）各区役所、市民館、公立学校、東京入国管理局横浜支局川崎出張所、県内各国際交流協会関連施設等外国人の利用が見込める施設、機関を対象とした。（計82ヶ所余り）

(2) ホームページによる情報提供事業（1-10）

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人の国際交流に関する多様な情報を提供した。ワンストップセンターの設置により相談事業等の対応言語が増えたことから、ホームページについても掲載言語を増やし多言語化を進めた。

また、「多言語ブログ」（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、やさしい日本語）によって、協会事業の広報及び川崎市や近隣の生活情報等を発信した。

ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

・アクセス数 155,845件（1日あたり426アクセス）

・更新回数 3,861回

ア 川崎市国際交流協会について

国際交流協会案内 協会のイベント及び講座 協会が後援するイベント

ニュースレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度

イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報

外国人留学生への助成制度 11言語での川崎市のお知らせ

ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

エ 川崎の魅力発信

外国人あるいは外国出身シェフのいるお店

オ その他

ボランティア活動 かわさき国際交流民間団体協議会

多言語ブログ アクセス件数10,951件（月あたり912アクセス）

(3) 各種メディアの活用

ア かわさきFMの活用

- ・協会提供『世界の国からこんにちは』月1回第2土曜日

イ その他のメディアの活用

- ・Facebook（フェイスブック）
Facebook アクセス数（Daily Organic Reach）：79,441（月あたり6,620アクセス）
- ・協働・連携ポータルサイト「つながっと KAWASAKI」
- ・かわさきイベントアプリ
- ・なかはらメディアネットワーク
- ・かわさきの生涯学習情報
- ・かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」ほか

Ⅱ 市民レベルでの国際交流に関する事業

■1 国際交流事業

(1) ウーロンゴン大学等川崎研修の受入事業（1-7）

オーストラリア・ウーロンゴン市のウーロンゴン大学日本語研修生の川崎研修は、ウーロンゴン大学側の諸事情等により中止となり、ホームステイによる受入れは中止となった。

(2) 川崎市民交流団の派遣（1-12）

川崎市とドイツ・リュューベック市の友好都市提携30周年を記念し、従来、市民交流団を派遣していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とする。

記念事業としては、川崎市・ドイツ・リュューベック市の友好都市提携30周年を開催。

（日時）令和4年11月12日（土）14:00 開演

■2 行事開催事業（主催公演事業）

(1) インターナショナル・フェスティバルの開催事業（1-8）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(2) 多文化共生推進イベント（1-6）

ポッチャ大会 x オンラインわいわい国際交流会



麻生区スポーツ推進委員会から指導員を招いてポッチャ競技体験で多文化交流する会を予定していたが新型コロナウイルス感染症対策のため対面開催を中止し、「ポッチャオンラインわいわい国際交流会」のオンラインイベントに変更して開催した。変更に伴い、ポッチャ経験者によるデモンストレーションプレゼンを行った。

日時： 令和4年8月20日（土）10：00～12：00

場所： 川崎市国際交流センター ホール

講師： 中原区在住の大西夫妻

オンライン参加者：19名（日本、インドネシア、フィリピン、中国、ネパール）

会場スタッフ：5名（日本、フィリピン、中国）※講師は除く。

■3 講座・研修の開催事業

(1) 地球市民講座（1-1）

ア 地球市民講座「中村哲追悼 加藤登紀子講演会～光ある未来へ～」の開催

（日時）令和4年5月26日（木）16:00～18:00

（会場）幸文化センター 大ホール

（内容）中村哲医師との交流の軌跡と地球環境問題について

（講師）歌手 加藤登紀子

（参加者）725名

（総括）加藤登紀子さんは、スクリーンに写真を映して、出身のハルピンを回想された後、学生時代のこと、ご主人のこと、そして中村哲さんとの多くのエピソードを披露された。加藤登紀子さんと中村哲さんに共通するのは、「命を前にして一方を善（正義）、もう一方を悪（不正義）に分けることに意味はない」と結んだことだった。「日本の歴史を振り返ればなおのこと、戦争以外の手段で世界の平和に貢献すべきだ」と話された。2部では加藤登紀子さんによるミニコンサートをを行った。



中村哲追悼 加藤登紀子講演会 ～光ある未来へ～



ミニコンサート

イ 地球市民講座「違っているからおもしろい - 私たちが考える多文化共生」の開催

（日時）令和5年3月18日（土）14:00～16:00

（会場）川崎市国際交流センター ホール

（内容）多文化への理解とその違いを楽しむことを語る

（講師）THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊 代表

（参加者）32名

（総括）講師がオランダ、アメリカで生活する中で感じた文化や言葉、考え方の違いや移民に対する寛容さなどを自身の体験をもって語られた。その体験を元に現在では日本人と外国人の枠を

超え、障がいのある人も個性と捉え一緒に演劇などを行っている。来場者からは新しい多文化共生の考え方として共感する声もあった。



(2) 各種語学講座 (1-1)

上半期 (各語学講座 182 名)

講座名	回数	講師	受講者数
初級英会話 A	18回 毎火曜	桜美林大学教授	11名
初級英会話 B	18回 毎土曜	玉川大学教授	24名
CLIL 英語で培う文化間意識	18回 毎木曜	駒沢大学講師	16名
中級英会話 A	18回 毎金曜	語学講師	20名
中級英会話 B	18回 毎土曜	語学講師	20名
英語で話そう	18回 毎水曜	玉川大学教授	16名
おもてなし英語	12回 毎水曜	語学講師	14名
英語でディスカッション (英検 2 級レベル)	12回 毎火曜	語学講師	19名
英語で学ぶイギリス音楽	18回 毎水曜	関東学院大学講師	12名
中国語初級	18回 毎土曜	慶應義塾大学講師	18名
フランス語初級	12回 毎水曜	語学講師	12名

夏休みこども語学教室は、「国際交流センターの外壁改修工事」の影響のため中止とした。

下半期 (各語学講座 257 名)

講座名	回数	講師	受講者数
初級英会話 A	18回 毎火曜	桜美林大学講師	13名
初級英会話 B	18回 毎土曜	玉川大学教授	27名
CLIL 英語で培う文化間意識	18回 毎木曜	駒沢大学講師	11名
中級英会話 A	18回 毎金曜	語学講師	23名
中級英会話 B	18回 毎土曜	語学講師	25名
英語で話そう	18回 毎水曜	玉川大学教授	15名

おもてなし英語	12回	毎水曜	語学講師	12名
英語でディスカッション (英検2級レベル)	12回	毎火曜	語学講師	18名
英語で学ぶイギリス音楽	18回	毎水曜	関東学院大学講師	12名
中国語入門	18回	毎土曜	慶應義塾大学講師	22名
フランス語初級	12回	毎水曜	語学講師	19名
韓国・朝鮮語入門	18回	毎土曜	慶應義塾大学講師	23名
春休みこども英語教室 A	3回		語学講師	17名
春休みこども英語教室 B	3回		語学講師	12名
春休みこどもスペイン語教室	3回		語学講師	8名



(3) ボランティア研修会 (1-1)

ア ボランティア研修会

普段から、オンラインをボランティア活動に利用している、当協会登録ボランティアを対象に、オンラインミーティングのツールである Zoom の活用セミナーを開催した。

(日時) 令和4年12月10日(土) 10:00~11:00

(実施方法) オンラインと対面のハイブリット

(内容) オンラインで使用する機材、Zoom の基本機能について

(講師) Zoom によるオンライン活用術についての本の著者

(参加費) 無料

(参加者) 42名

(総括) 数台の WEB カメラや PC、スイッチャーなどのいろいろな機材を使って、手元の画面を映しながらの講義だった。実際の画面を見せながらの説明はとてもわかりやすく、オンラインでのいろいろな実施方法の提示は参考になった、今後の活動に試してみたいなどの感想もあり、とても好評だった。



イ 「やさしい日本語」研修会

やさしい日本語に関心を持つ人を対象に、「やさしい日本語」の概要から、作り方の講義と実習までを実践的に学ぶ研修会をオンライン形式で開催した。

(日時) 令和4年7月23日(土) 13:00~15:00

8月6日(土) 13:00~15:00

(場所) Zoomによるオンライン

(内容) 「やさしい日本語」の概要から、日本語から「やさしい日本語」への変換の仕方の講義と実習までを実践的に学ぶ。今年度は、情報発信の文字媒体としての書き換えに加えて、話し言葉の言換えについても学ぶ機会とした。

(対象) やさしい日本語ボランティアに関心のある方

(講師) 国際交流基金日本語国際センター 専任講師

(参加費) 無料

(参加者) 延べ83名

(総括) コロナ禍のため、対面でのワークショップは難しいと考え、オンラインで開催。

いろいろな方が参加できたという利点があった一方で、対面では講師にすぐ質問ができるが、オンラインでは、ブレイクアウトルームでの話し合いで出た疑問をその場で聞くことは難しいため、話し合いが難しかったとの意見もあった。

(4) 外国人市民のための講座 (1-1)

外国人市民に対し日本の就学・就職の制度や情報、災害時の対処などの情報を提供し、日本での生活を築く支援となる説明会や講座を開催した。

ア 外国につながる子どものための小学校入学説明会

(日時) 令和5年1月28日(土) 13:30~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) 市立小学校校長OBによる本市の小学校の説明(協会オリジナルガイドブックとスライドによる)、先輩外国人保護者との座談会と質疑応答

(参加者) 17名

(参加費) 無料

(総括) 元小学校校長の講師から、DVDによる視覚資料も交えながら小学校生活の一日を説明し、また、「学校に持っていく物、いかない物」なども、絵を使って分かりやすく説明するなど、入学への不安を楽しみや希望に変えてもらえるよう努めた。先輩外国人保護者との座談会では、具体的な質問や、経験談を交えたアドバイスなどが活発に飛び交った。参加者には寄付されたランドセルや学用品等を無償で提供した。



イ 日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス

(日時) 令和4年9月19日(土) 13:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(参加者) 120名(中学生とその保護者63名、高校教員20名、行政書士4名、通訳者14名、
県・市教育委員会4名、高校・大学生3名、スタッフ9名、相談員3名)

(通訳者) 通訳ボランティア14名(中国語5名、タガログ語2名、ネパール語2名、タイ語1
名、英語2名、スペイン語1名、ポルトガル語1名)

(参加費) 無料

(総括) 今年度も、新型コロナウイルス感染症対策をした上で多くの方々の協力を得て開催した。
今回は参加者を2部制に分け相談時間を拡充した。参加者からも役に立つ情報を得られ
たと喜びの声を頂いた。

ウ 外国につながる中学生のための学習支援

(日時) 令和4年4月1日(土)~令和5年3月26日(日)

(会場) 川崎市国際交流センター 協会会議室ほか

(参加者) 延べ348名

(参加費) 無料

エ 外国人のための就職活動セミナー

(日時) 令和4年11月26日(土)

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 8名(中国3名、インド2名、アメリカ1名、ネパール1名、日本1名)

(講師) 宇賢グループ代表取締役

(参加費) 無料

(総括) 就職活動の流れや面接の作法を学び、講師による面接のデモンストレーションや
指導による受講者の面接練習などを実施した。必要な参加者には通訳を用意した。



オ 外国人のための「市営住宅申込書の書き方」説明会

(日時) 令和4年6月11日(土) 10:00~12:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 14名(インド2名、ベトナム2名、フィリピン2名、中国1名、
カメルーン2名(1組)、ブラジル4名(1組) バングラディシュ1名)

(参加費) 無料

(総括) 参加者の熱心な様子から、新型コロナウイルス感染による解雇や減収などの影響が大き
く、公営住宅が重要な選択肢として考えられている印象を受けた。市の担当者3名も出席したた

め、申込書に記載する収入の計算や住戸の選び方など複雑な質疑もその場で解決し、迅速な対応ができた。当日来られない方にも後日ワンストップセンター窓口にて随時対応を行った。

(5) ふれあい交流会 (1-2)

その国の文化や歴史の紹介を交えた料理講座を通じて国際理解を深め、質疑応答などの語らいの中から国籍などを超えた相互理解を図った。

新型コロナウイルスの感染症対策のため、オンライン配信 (Zoom) により開催した。

ア タイ料理

(日時) 令和4年10月15日(土) 11:00~13:00 (Zoom)

(会場) 川崎市国際交流センター 料理室 (撮影)、役員会議室 (Zoom)

(参加者) 32人 (申込者24人、講師1人、スタッフ7人)

(講師) タイ文化の講師を務めているタイ出身者

(内容) 家庭でも簡単に作れるタイ料理の解説を交えながら作り、タイ文化や歴史、食文化も紹介し、タイへの理解を深めた。

(総括) 新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年に続いてオンライン (Zoom) での開催とした。参加者にはレシピや当日使う食材などをまとめた資料を事前に送った。料理動画の制作及び編集は事前に準備をし、オンラインで動画共有をした。タイ文化の紹介内容も充実し、また参加者からも活発に質問などがあり好評を得た。

(6) ウクライナ緊急支援 伝統工芸展&トークイベント (1-2)

ウクライナの平和を願い、キーウ出身で市内在住のアーティストを招き、ウクライナの伝統工芸「ピサンキ」や「刺繍」、ウクライナの現状に関する写真などを展示した。併せて、ウクライナの歴史と文化についてのトークイベントを開催した。

(日時) 令和4年5月7日(土) 13:00~17:00、5月8日(日) 10:00~17:00

(会場) 川崎市国際交流センター 交流ロビー、団体活動ルーム

(参加者) 80人

(講師) キーウ出身で市内在住のアーティスト

(内容) 伝統工芸展、ウクライナの歴史・文化のトークイベント

(総括) ウクライナ緊急支援のイベントとして実施したところ、報道でも大きく取り上げられていることから多くの参加者が集った。参加者からは、ウクライナの平和を願う声が多く寄せられた。

■4 調査・研究事業

(1) 調査研究 (1-3)

外国人の高齢化に伴う介護に関わる諸問題をアンケート調査により明らかにすることを目的とする。

(アンケート調査実施期間) 令和4年8月1日~令和5年1月31日

(アンケート使用言語) やさしい日本語

(アンケート回答者数) 52名

(総括) Web 上でのアンケート回答のほか、「青丘社ふれあい館」、「公益財団法人横浜福祉事業経営者会」でアンケート回答を依頼するなど参加協力を得た。アンケート回答者総数52のう

ち、「介護職員」の回答が 66.7%、「これから介護の仕事をする」方の回答が 30%を占めた。介護を受けている人が利用しているサービスの内容や在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの内容がわかったほか、サービスを提供している介護者が日本人、外国人問わず言語の違い、文化や習慣の違いによる介護の難しさを感じていることがわかった。

■5 外国人留学生修学奨励金支給事業

(1) 奨励金支給 (1-4)

川崎市在住の外国人留学生に対し修学奨励金を支給し、経済的負担を軽減することによってその修学環境の向上を図り、「地域の国際化」に貢献する留学生の育成に寄与することを目的とする。

(支給資格)

- ア 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者
- イ 住民基本台帳法の規定により本市に登録し、現に居住している者
- ウ 学校教育法に規定する大学、高等専門学校又は専修学校の専門課程に在学する者
- エ 川崎市内の大学等に在学する者
- オ 国費外国人留学生に該当しない者
- カ 学業、人物ともに優秀で、大学等から推薦を得られる者
- キ 地域の国際化、特に川崎市の国際交流活動に参加または協力のできる者

(支給期間) 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

(支給者数) 前期 24 名 後期 23 名 (支給金額) 100,000 円

(支給校数) 8 校

(2) 担当者への支給説明会 (1-4)

(趣旨) 外国人留学生修学奨励金支給に際し、大学や専門学校の担当者に、留学生の奨励金使途並びに国際交流活動への参加協力への報告等を活用し、事業趣旨の理解を深めるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大のために、変更となった手続きのスケジュールや留学生の活動内容等について説明した。

(日時) 令和 4 年 4 月 13 日 (水) 10:30～11:30

(実施方法) Zoom によるオンライン

(参加) 大学 5 校、専門学校 5 校

(内容) ・川崎市外国人留学生修学奨励金支給事業の趣旨及び目的について
・申請等の事務手続きについて
・奨励金の使途、国際交流活動への参加協力の報告
・担当者情報交換

(3) 留学生への支給説明会・留学生交流会と情報提供会 (1-4)

(趣旨) 外国人留学生修学奨励金の支給者に対し、説明会を実施。その中で支給事業の趣旨を説明するとともに、協会事業を紹介し、国際交流活動及びボランティア活動への参加について説明を行った。今年も新型コロナウイルス感染症対策をしながら、対面で説明会を行うことで、留学生同士の交流の機会となった。

(日時) 令和 4 年 6 月 18 日 (土) 10:00～12:00

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(参加者数) 21名

- (内容) ・川崎市外国人留学生修学奨励金支給事業の趣旨及び目的について
- ・国際交流センター及び国際交流協会の施設及び活動について
 - ・国際交流などのボランティア活動への参加について
 - ・留学生情報提供（これからの社会に求められるものについて、など）
 - ・留学生交流会（グループワーク）

(4) 留学生による川崎についての調査と発表、冊子の作成

(調査目的) グループごとにテーマを設定し、調査してまとめた内容を発表する。また、川崎市民と交流を行う。

(発表) 事業名：留学生と交流する会（オンライン開催）

(日時) 令和4年11月5日（土）14:00～16:00

11月19日（土）14:00～16:00

(実施方法) Zoomによるオンライン

(参加人数) 延べ61名

(内容) グループ発表

- ・在日期间ごとに日本の面白さや日本人の考え方・習慣を明かす
- ・日帰り旅行でインターナショナル友達を作ろう
- ・自国と日本文化の違い
- ・川崎駅周囲の中国食品店ご紹介と軽食などお勧め

ブレイクアウトルームを使ってグループに分かれて、交流

(統括) 今年度の留学生のグループ発表のテーマは、自分たちで考えてもらった。留学生ならではの意見や見方が出ていて、とても興味深い内容であった。交流会に参加した人たちの反応もよく、とても有意義な交流会となった。オンラインでの交流会が続いているので、今度は対面で交流したいという意見が留学生、一般市民の双方から出ていた。

(冊子作成) グループ毎に調べた内容を「バトンパス これから川崎にくる留学生へのメッセージ」と題した冊子としてまとめた。また、来年度の外国人留学生修学奨励金受給生に配布予定。

Ⅲ 民間国際交流団体及びボランティアの育成事業

■1 民間交流団体補助金交付事業

(1) 補助金の交付（1-5）

(目的) 市内の民間交流団体が行う国際交流・多文化共生推進事業を支援し、民間レベルでの国際交流活動及び多文化共生を促進するため、補助金交付を行う事業。（今年度から、外国人支援等の多文化共生を推進する事業も対象とすることとした。）

(対象となる団体)

- ア 団体の事務所が川崎市内にあり、主たる活動の場が川崎市内であること
- イ 団体の事業活動は、一般市民を対象とすること

ウ 代表者、副代表者及び役員等、団体の主たる構成員が川崎市内在住、在勤又は在学者であること

エ 原則として5年以上の活動実績があること

オ 団体の運営に際し、目的、組織、代表者等について必要事項の定めがあること

カ その他会長が特に認めるもの

(交付団体)

ア 国際交流プログラム

No.	団体名	事業名・実施予定日	申請金額	決定金額
1	和太鼓 祭音	和太鼓祭音 25周年記念公演 「祭りさんさん（燦々）音のふるさと」	100,000	100,000
		11月26日（土）～11月27日（日）		
2	ぐるーぷ「琴音人」	国際交流“和楽器ふれあいコンサート”	100,000	90,000
		1月29日（日）		
3	コーロ・イルポニテ	歌のかけ橋コンサート	50,000	実施が 延期
		10月1日（日）		

イ 多文化共生プログラム

No.	団体名	事業名・実施予定日	申請金額	決定金額
1	多文化活動連絡協議会	第2回多文化映画・学習会	80,000	70,000
		12月10日（土）		

(2) 国際交流民間団体の育成、支援（1-5）

川崎市内の国際交流民間団体により組織された「かわさき国際交流民間団体協議会」に対し、その運営及び活動の支援を行った。

ア かわさき国際交流民間団体協議会への登録

登録数 58 団体 （令和4年4月現在）

イ かわさき国際交流民間団体協議会への活動支援

(ア) 会議の開催

総会

(日時) 令和4年4月16日（土）10:00～12:00

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(内容) 令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画案・予算案 ほか

運営委員会

第1回運営委員会 令和4年5月20日（金）

第2回運営委員会 令和4年6月20日（月）

第3回運営委員会 令和4年10月19日（水）

第4回運営委員会 令和4年12月12日（月）

第5回運営委員会 令和5年2月6日（月）

2023年度インターナショナル・フェスティバル実行委員会

第1回運営委員会 令和5年2月6日(月)

(イ) ミニ交流会

(日時) 令和5年2月11日(土)

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(参加者数) 32名

(内容) ハワイアンキルト

(出演) ラナ・ハワイキルト、プアリリア新城

(主催) かわさき国際交流民間団体協議会

(共催) 公益財団法人川崎市国際交流協会

(ウ) 地球市民講座①「中村哲追悼 加藤登紀子講演会」の開催(1-1)(再掲)

(日時) 令和4年5月26日(木) 16:00~18:00

(内容) 中村哲医師との交流の軌跡と地球環境問題について

(講師) 歌手 加藤登紀子

(エ) 地球市民講座②を開催予定(1-1)(再掲)

(日時) 令和5年3月18日(土) 14:00~16:00

(内容) 多文化への理解とその違いを楽しむことを語る

(講師) THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊 代表

(オ) かわさき国際交流民間団体協議会ニュースの発行

第43号(令和4年4月1日発行)

第44号(令和4年9月1日発行)

第45号(令和5年1月1日発行)

(カ) 各種事業の共催及び後援による活動支援

国際交流を行う団体等からの申請により、当該団体の活動を支援した。

共催: 1事業 後援 26事業 協力 3事業

■2 ボランティア活動推進事業

(1) ボランティア活動支援(1-11)

協会等が実施する事業に対し、あらかじめボランティアとして登録した市民等が通訳・翻訳などの活動を行うことにより、市民レベルでの国際交流の促進を図る。

ア ボランティア登録

各種ボランティア登録総数 1,440 個人・家庭 (令和5年3月31日現在)

(内訳)

(ア) 通訳・翻訳ボランティア	435名(24言語)
(イ) ホームステイボランティア	180家庭
(ウ) ホームビジットボランティア	113家庭
(エ) 日本語講座ボランティア	99名

(オ) 国際理解教育支援ボランティア	89名
(カ) 一般ボランティア	410名
(キ) 保育ボランティア	36名
(ク) 編集ボランティア	33名
(ケ) やさしい日本語ボランティア	45名
(コ) 災害ボランティア	255名 (合計数に計上せず)
(サ) 生活にほんごサロンサポーター	74名 (合計数に計上せず)
(シ) 外国につながる子どもの寺子屋	23名 (合計数に計上せず)
(ス) 外国につながる子どもの学習支援	40名 (合計数に計上せず)

イ ボランティアの活動状況

(ア) 通訳	延べ 29名	29件
(イ) 翻訳	延べ 228名	103件
(ウ) ホームステイ	受入人数 0名	受入家庭 0家庭
(エ) ホームビジット	受入人数 0名	受入家庭 0家庭
(オ) 日本語講座ボランティア	延べ 89名	実働 32名
(カ) 一般ボランティア	イベント及び講座運営補助等 延べ 588名 558件	

(2) 国際理解教育支援 (1-11)

市内小・中学校等における総合的な学習の時間の英語活動や国際理解教育へ外国人市民を派遣した。

ア 英語活動、国際理解教育等への講師派遣	
市内小学校ほか	45件 延べ 95名

■事業アンケート結果

令和4年度 講座・事業 アンケート結果

NO	協会事業(1) 事業名	回答数	分かりやすかった				ためになった				楽しかった				満足度
			大いに満足 (A票のみ)	満足 (よかった)	普通	期待と 相違	大いに満足 (A票のみ)	満足 (よかった)	普通	期待と 相違	大いに満足 (A票のみ)	満足 (よかった)	普通	期待と 相違	
1	地球市民講座「加藤慶紀子講演会」	370					201	101	8	4					96.2
2	地球市民講座「進んでいるからおもしろい」	25	16	7	2		16	7	2		14	6	2		92.0
3	前期・語学講座「英語でディスカッション」	18	15	3	0	0	16	2	0	0	15	2	1	0	98.1
4	前期・語学講座「初級英会話A」	9	1	4	1	3	1	6	2	0	2	7	0	0	77.8
5	前期・語学講座「英語で話そう」	10	3	6	0	0	3	6	0	0	5	5	0	0	93.3
6	前期・語学講座「おもてなし英語」	9	6	3	0	0	6	0	1	0	7	1	1	0	92.3
7	前期・語学講座「フランス語初級」	8	6	2	0	0	6	2	0	0	7	1	0	0	100.0
8	前期・語学講座「英語で学ぼう！イギリス音楽」	6	3	2	1	0	2	3	1	0	2	3	0	1	83.3
9	前期・語学講座「OJL英語で構う文化講座」	6	4	1	0	0	4	2	0	0	4	1	0	0	88.9
10	前期・語学講座「中級英会話A」	12	4	4	3	1	5	4	1	0	4	4	2	0	69.4
11	前期・語学講座「初級英会話B」	19	15	4	0	0	13	5	0	0	15	3	0	0	96.5
12	前期・語学講座「中国語初級」	10	5	5	0	0	7	3	0	0	9	1	0	0	100.0
13	前期・語学講座「中級英会話B」	12	8	4	0	0	7	5	0	0	9	3	0	0	100.0
14	後期・語学講座「英語でディスカッション」	16	14	2			16				15	1			100.0
15	後期・語学講座「韓国・朝鮮語入門」	10	10	1	1		10	1	1		17		1		94.4
16	後期・語学講座「初級英会話A」	6		3	3			3	3		1	3	2		50.0
17	後期・語学講座「英語で話そう」	4	2	2			3	1			4				100.0
18	後期・語学講座「おもてなし英語」	12	9	3			9	3			10	2			100.0
19	後期・語学講座「フランス語初級」	11	10	1			9	2			9	2			100.0
20	後期・語学講座「英語で学ぼう！イギリス音楽」	8	3	4	1		1	7			3	5			87.5
21	後期・語学講座「英語で構う文化講座」	8	6	2			7	1			7	1			100.0
22	後期・語学講座「中級英会話A」	13	9	3			10	3			11	2			100.0
23	後期・語学講座「初級英会話B」	12	9	3			9	3			10	2			100.0
24	後期・語学講座「中国語初級」	16	11	6	1		13	4			16	2			94.4
25	後期・語学講座「中級英会話B」	11	11				11				11				100.0
26	春休み子ども英語教室A	14									12	2			100.0
27	春休み子ども英語教室B	9									5	4			100.0
28	春休み子どもスペイン語教室	6									3	3			100.0
29	ボランティア研究会「やさしい日本語」①	37.0	8.1	75.7	16.2	8.1	24.3	45.9	27.0	2.8	21.6	48.6	27.0	2.8	74.7
30	ボランティア研究会「やさしい日本語」②	28.0	18.5	59.3	18.5	3.7	28.6	46.4	17.9	7.1	25.0	60.7	3.6	10.7	79.5
31	ボランティア研究会の活用術・活動編①	33	54.5	33	12	0	52	39	9	0					89.3
32	ボランティア研究会の活用術・中・上級編①	23	11	11	1	0	12	8	1	1					93.5
計														2951.1	
満足度平均														92.2	

■ 処務事項

1 役員に関する事項

役員等の人数：理事 7名、監事 2名、評議員 6名

2 役員名簿（第6期）

（令和5年3月31日現在）

	氏名	所属等
代表理事 会長	平尾 光司	昭和女子大学 名誉理事
代表理事 常務理事	北沢 仁美	公益財団法人川崎市国際交流協会 事務局長
理事	佐々木 重人	専修大学 学長
理事	青木 茂夫	一般社団法人川崎市観光協会 専務理事
理事	澄川 圭	弁護士
理事	上林 千恵子	法政大学 名誉教授
理事	大西 絵満	かわさき市民放送株式会社 代表取締役社長
監事	小澤 裕司	小澤裕司税理士事務所 税理士
監事	熊谷 雅仁	川崎信用金庫 常務理事

※第6期役員任期：令和4年度の定時評議員会で選任後、2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

3 評議員名簿（第3期）

（令和5年3月31日現在）

	氏名	所属等
評議員	伊藤 博	モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合 理事長
評議員	谷本 通安	日本ボーイスカウト神奈川連盟川崎地区協議会 顧問
評議員	内藤 幸彦	川崎 JICA ボランティアの会 会長
評議員	吉田 聖子	公益社団法人日本語教育学会会員 地域日本語教育専門人材育成コーディネーター
評議員	ルース・ファロン	公益財団法人川崎市国際交流協会 語学講座（英語）講師
評議員	笠間 由美子	行政書士かさまゆみこ事務所 行政書士

※第3期評議員任期：令和2年度の定時評議員会で選任後、4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

4 理事会の開催

会議名	審議及び議決事項
第1回理事会 令和4年6月1日（水）	議決事項 議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度決算報告について 議案第3号 第6期役員候補者について 議案第4号 定時評議員会の招集について 議案第5号 令和4年度収支予算の補正について
第2回理事会 【書面決議】 令和4年6月16日（木）	議決事項 議案第1号 令和4年度第2回理事会を決議の省略の方法で行うこと 議案第2号 公益財団法人川崎市国際交流協会会長の選定について 議案第3号 公益財団法人川崎市国際交流協会常務理事の選定について
第3回理事会 令和5年1月30日（月）	議決事項 議案第1号 公益財団法人川崎市国際交流協会における役員業績評価の導入について 議案第2号 令和4年度第2回評議員会の招集について
第4回理事会 令和5年3月9日（木）	議決事項 議案第1号 令和5年度事業計画について 議案第2号 令和5年度収支予算について 議案第3号 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第4号 基本財産の運用について

5 評議員会の開催

会議名	審議及び議決事項
定時評議員会 令和4年6月16日(木)	議決事項 議案第1号 任満了に伴う理事7名の選任について 議案第2号 任満了に伴う監事2名の選任について 議案第3号 評議員1名の選任について 議案第4号 令和3年度決算報告について
第2回評議員会 令和5年2月17日(金)	議決事項 議案第1号 公益財団法人川崎市国際交流協会における役員業績評価の導入について